

環境報告書

2007



DMWCORPORATION

編集方針

当社では2003年度より環境報告書を作成して発行してまいりました。この報告書は、当社の経営理念、環境管理活動、生産活動に伴う環境負荷実績などの情報を開示し、皆様に当社の環境保全に対する取り組みをご理解いただくことを目的に発行しています。

対象期間

2006年度(2006年4月1日～2007年3月31日)

対象範囲

株式会社 電業社機械製作所

なお、環境会計、環境パフォーマンスデータ集計範囲等はISO14001の認証を取得している三島事業所のみ

参考にしたガイドライン

本報告書の作成にあたっては、環境省「環境報告書ガイドライン(2003年度版)」を参考にしました。

発行日

2007年11月

お問い合わせ先

(株)電業社機械製作所 三島事業所 環境管理事務局
TEL 055-975-8228
FAX 055-975-9988
〒411-8560
静岡県三島市三好町3番27号

目次

編集方針	1
ごあいさつ	2
会社概要	3
経営理念	4
事業活動と環境負荷	5
三島事業所の概要	6
環境マネジメント	7
環境負荷低減への取り組み	8
取り組みの実績	9
環境会計	11
安全衛生その他	12
環境に配慮した製品	13

おかげさまで、電業社機械製作所は1955年の設立から今年で52年を迎えました。この間、主力製品である大型ポンプや送風機などの風水力機械を多くの産業分野に提供し、ご利用いただけてまいりました。日々革新される技術に挑戦するなか、より高い信頼性を持つ新技術・新製品を生み出し、安心してお使い頂ける製品やシステムを社会に提供することで、創業時より営々と築き上げられている「技術の電業社」の企業イメージをより一段と高め、21世紀に勝ち残る企業となるべく努力する所存です。

21世紀は環境の時代といわれています。近年、温室効果ガスによる地球温暖化が全世界共通の大きな環境問題になっています。さらに温暖化の進行が予想よりかなり早い速度で進行しているとの情報も聞かれます。かけがえのない地球を守るため、地球温暖化を始めとする環境保全への取り組みは、これからの企業にとって極めて重要な社会的責任であると考えております。

当社は「社会貢献」、「人間中心」、「環境貢献」、「人材育成」を経営理念の4本柱に据え、社会と人に対する貢献の実現とともに環境負荷の小さな生産活動とライフサイクルエネルギーの小さな製品作りを通じて、持続可能な循環型社会作りに貢献できる企業を目指し環境保全活動に取り組んでおります。この活動を地道に進めることによって、成果を確実に得ていくことが当社の果たすべき社会的責任であると考えております。

この環境報告書は2006年度の環境保全活動の概要をまとめたものです。本報告書をご一読いただき、当社の取り組みにご理解をいただくとともに、皆様方の忌憚のないご意見、ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

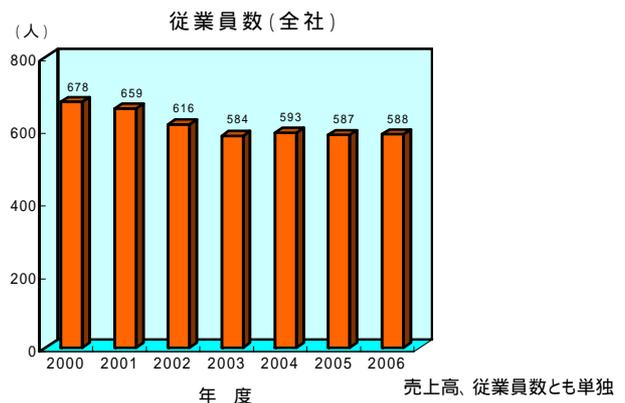
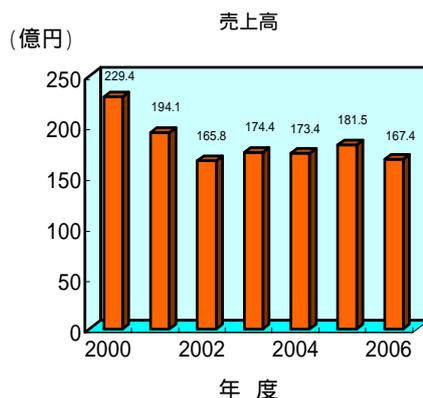
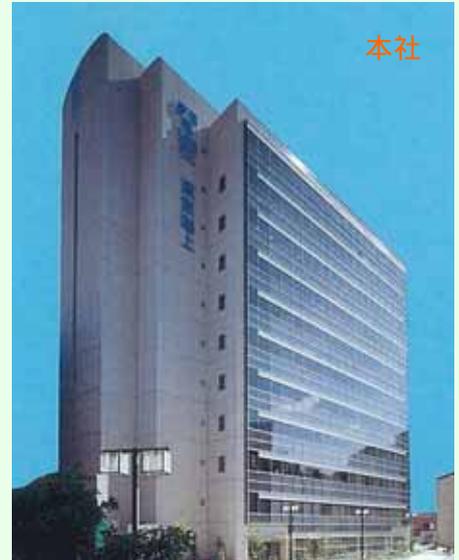


代表取締役社長
渡邊昌信

会社概要

電業社は、「技術創生」を経営のコアコンセプトに、モノづくりの技術を中心とした企業活動を展開しています。製品の供給のみにとどまらず、お客様のニーズを的確に捉え、より効果的な運用法や低コスト化、維持管理に関する提案までできる、創造性豊かな企業をめざします。

商号	株式会社 電業社機械製作所 (DMW CORPORATION)
創業	明治43年9月(1910年9月)
本社	〒143-8558 東京都大田区大森北1丁目5番1号 TEL 03-3298-5111 ホームページアドレス http://www.dmw.co.jp
資本金	8億1千万円
主な事業内容	(1) 風水力機械の製造、販売 (2) 廃水処理装置 及び廃棄物処理装置の製造、販売 (3) 配電盤・電気計装制御装置 及び電気通信制御装置の製造、販売
事業所	三島事業所
支店・営業所	北海道支店、東北支店、関東支店、静岡支店、名古屋支店、大阪支店、中国支店 四国支店、九州支店、新潟営業所、横浜営業所、和歌山営業所、岡山営業所、 沖縄営業所
関連会社	電業社工事株式会社 株式会社エコアドバンス



(トピックス2006)

回転体引抜型立軸斜流ポンプ

発電所や石油・化学プラントに用いられる大型冷却水ポンプ用として、回転体引抜型立軸斜流ポンプの開発が完了しました。従来に比べて大幅に軽量化され、羽根車や回転軸が外筒を据え付けたまま取り外すことができるので、保守・点検がきわめて容易という特長を備えています。

気化器海水用立軸ポンプ

洋上プラントに貯蔵されている液化天然ガスは海水で暖められることにより気化し、天然ガスとして利用可能となります。その際に使用される海水を気化器へ送る立軸ポンプの製作が完了し、出荷されました。このポンプの材質には、海水に対して最高級の耐食性を有するスーパー二相ステンレス鋼を使用しています。加工が非常に難しい材質ですが、世界有数の素材メーカーの協力を得て完成したものです。

当社は将来に亘り、風水力事業を経営の中核とし、社会のニーズに応える高付加価値製品の開発や、従来製品の強化を自主技術はもとより、産学連携、M&Aなどにより短期に実現し、流体技術を中心とした成長戦略を構築します。また、省エネルギー、省スペース、信頼性に優れた製品を提供することで、社会ならびに地球環境への貢献と、常に新たな状況に挑戦し続ける企業遺伝子を育むために、人づくりを何よりも大切にする企業でありつづけるよう努力をしております。

経営理念

コアコンセプト

技術創生

電業社は、『物作りの技術を中心とした企業活動』を行い、将来とも発展することを目指します。

〔社会貢献〕

電業社は、独自の技術を駆使してより良い製品を創り、社会の進歩に寄与します。

〔人間中心〕

電業社は、株主・社員はもとより、地域や社会・世界の人々のために活動します。

〔環境貢献〕

電業社は、自然と共存する技術を目指し、地球環境の向上に寄与します。

〔人材育成〕

電業社は、社員の自己啓発を支援し、自らの役割と価値を創造しう人材の育成に努めます。

経営ビジョン

- 変革とスピードある企業風土作り
- 技術力向上へのあくなきチャレンジ
- 国際市場に打ち勝つ製品コストの実現
- お客様に満足されるサービスの提供
- 自然環境に優しいシステムの創生
- キャッシュフロー重視の経営

電業社行動指針(要旨抜粋)

<社会ルールの理解と遵守>

ビジネス社会のルールの遵守は全てに優先し、違法・脱法行為は絶対に行ってはならない。又、社会主義及び社会的責任の観点から市民社会の秩序や安全に影響を与えるすべての反社会的団体とは一切関係を持たない。

<ステークホルダーとのありかた>

顧客、株主、代理店、取引先地域社会等に代表されるステークホルダーとは、良きパートナーとしての認識に立ち、情報公開に努め公正かつ誠実な信頼関係の構築と維持を図る。

<自由で公正な事業活動>

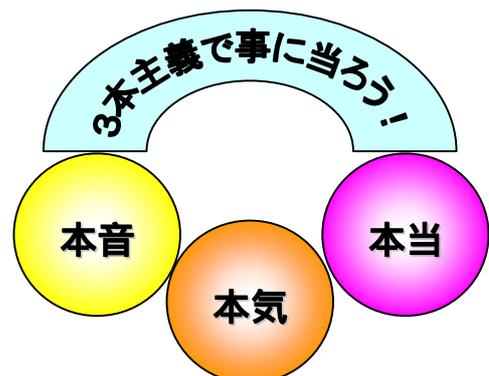
事業活動を行うにあたっては、独占禁止法その他公正な取引を維持するための法令をよく理解し遵守する。

<環境への取組み>

環境を考えた事業活動の展開を根幹とし、よい環境づくりに役立つ技術の研究、開発、生産及び製品提供を行う。生産過程の環境負荷を低減し、自然との調和を図り、健康的な社会環境づくりに積極的に取り組む。

<企業市民としての役割>

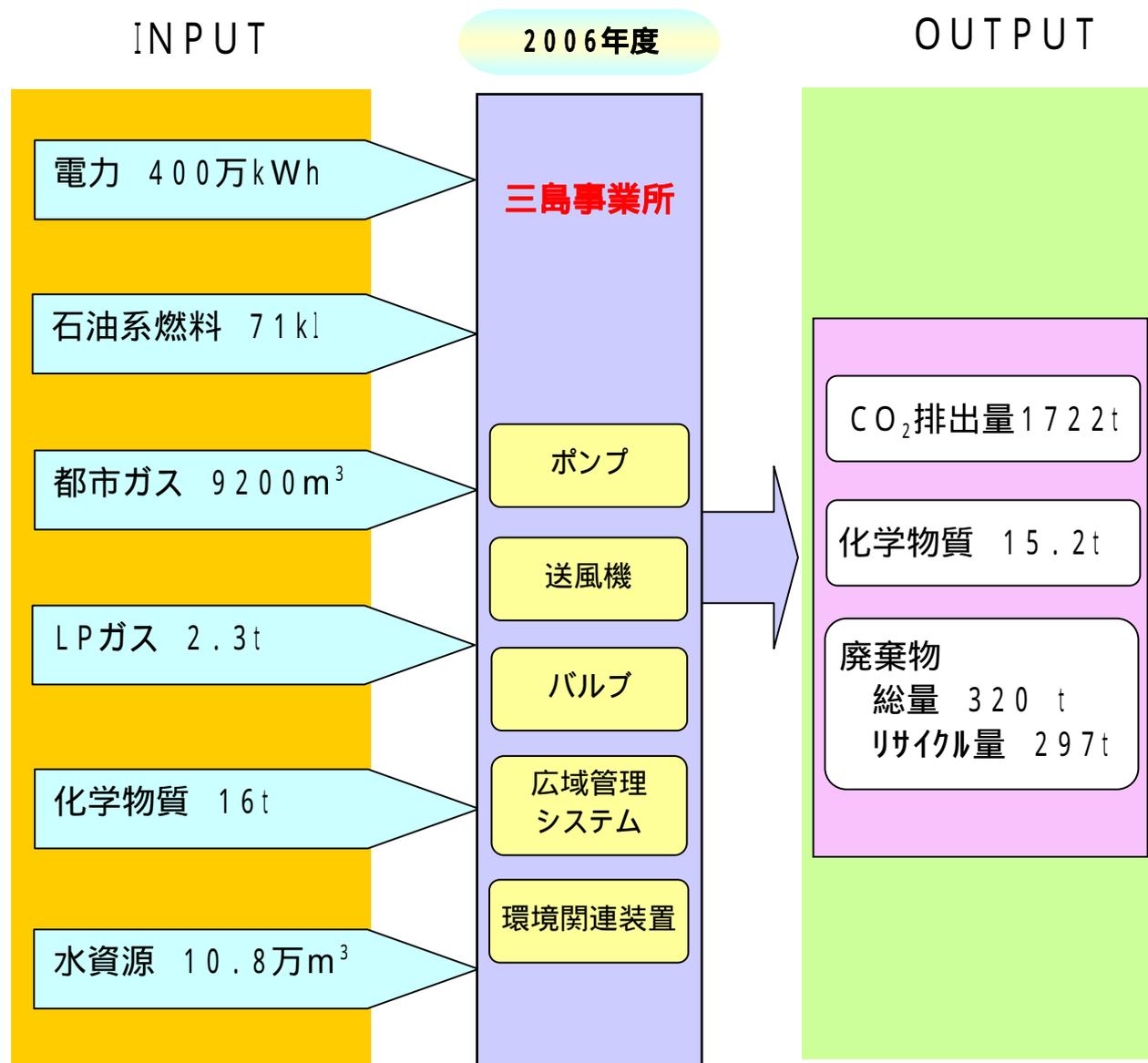
良き企業市民として貢献することが期待されることをよく認識し、行政や地域が行う活動には積極的に参加し、また共に活動できる場の設定に努力する。



事業活動と環境負荷

21世紀は環境の世紀といわれていますが、現在地球温暖化が大きな環境問題になっており、その原因とされる温室効果ガスの排出削減が全世界共通の課題となっています。

当社は人間の生活に欠かすことのできない水や空気を扱うポンプや送風機などを製造しています。省エネルギー、省資源に優れた“環境にやさしい製品”造りに努め、持続可能な社会の実現をめざし事業活動を展開しています。



化学物質はPRTR法対象物質で年間使用量1トン以上を対象とした

廃棄物の総量とリサイクル量は、金属くず(有価物)を含む

三島事業所の概要

(株)電業社機械製作所は風水力機械メーカーとして、水と空気と環境をテーマに、高い技術力と豊富なノウハウを蓄積してきました。風水力機械に求められるニーズはますます複雑化しています。省エネルギー、省スペース、信頼性など、あらゆる要素を高いレベルで実現することが必要とされてきています。

三島事業所は昭和15年に静岡県三島市に設立され、大形のポンプ、ファン、ブロウ、バルブ等の風水力機械を中心とした産業機械の設計、製造や新製品の研究開発を行っています。

これらの製品は上下水道、電力、ガス、鉄鋼、セメント、石油精製、石油化学等の公共事業ならびに諸工業、国内、国外の広い分野で活躍しています。

三島事業所は恵まれた環境のもと、伝統ある高度の技術を生かし、お客様のニーズに対応したより良い製品を送り出して、社会に貢献したいと考えております。



三島事業所 本館

三島事業所

〒411-8560

静岡県三島市三好町3番27号

設立 昭和15年9月

敷地面積 111,168 m²

建屋面積 28,618 m²

従業員数 415人

主な製造品目

数多くの実績と豊かな経験、そして充実した設備を駆使して生まれた製品は、広く社会のお役に立っています。

ポンプ

渦巻ポンプ、軸流ポンプ、斜流ポンプ、チューブラポンプ、スクリューポンプ、水中モータポンプ、その他

送風機

ターボファン、翼形ファン、ラジアルファン、多翼ファン、軸流ファン、ジェットファン、ターボブロウ、その他

バルブ

ロートバルブ、ハウエルバンガーバルブ、逆止弁、その他

広域管理システム

遠方監視システム、運転支援装置、監視用電話通報装置、換気制御版、その他

環境関連機器

回転円板水処理装置、有機性廃棄物処理設備、水中排砂ロボット、その他

その他

除塵機、ゲート設備、その他

有機性廃棄物処理装置、水中排砂ロボットは関連会社の製品です。



循環水ポンプ



多段ターボブロウ



回転円板排水処理装置



ジェット燃料移送ポンプ



ミストセパレーターシステム
MSS -



水中排砂ロボット

三島事業所は2001年9月にISO14001の認証を取得し、規格に基づいた環境マネジメントシステム(EMS)を構築して環境保全活動を推進しています。製品の設計から製品の製造、発送までの生産活動における環境負荷の低減を図るとともに、製品使用時における環境負荷を低減するため、省エネルギー製品の開発にも積極的に取り組んでいます。

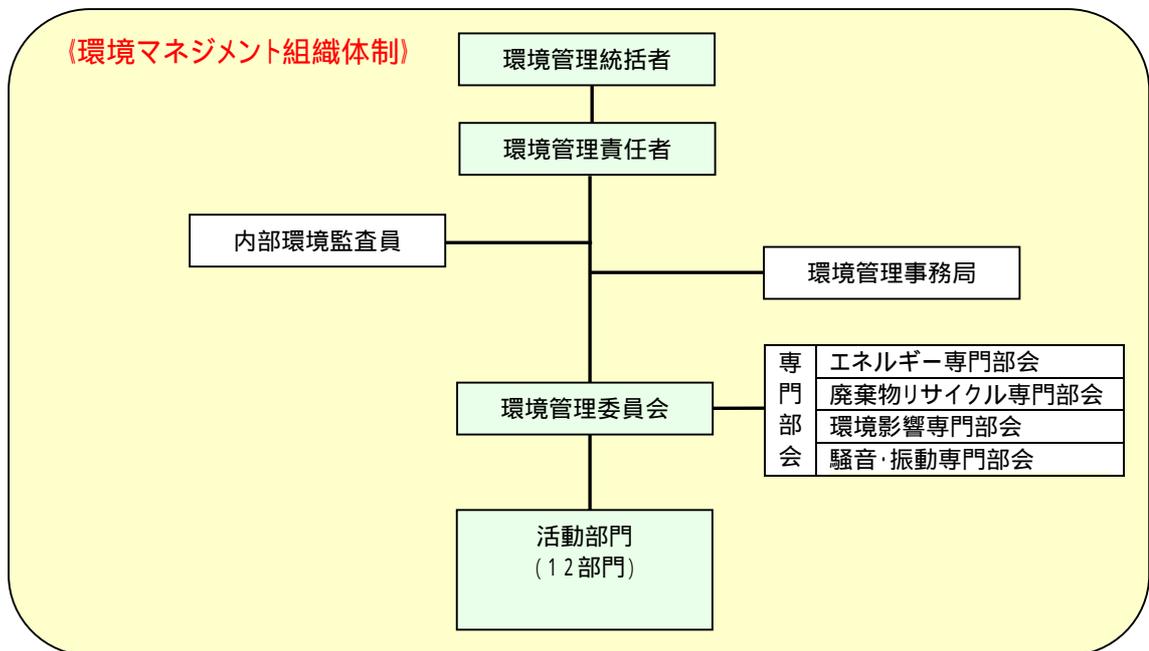
環境マネジメント組織体制

環境管理統括者を環境マネジメントに関する三島事業所の最高責任者とし、環境管理責任者を実行責任者とする組織体制を確立し、環境マネジメントを効果的に実施するため、それぞれの役割、責任、権限を定めています。

環境管理委員会は毎月開催する定期環境管理委員会と年2回開催する不定期の環境管理委員会があり、環境管理に関する重要事項の審議・決定や報告等を行います。また、下部組織に環境改善に関する諸施策を審議、答申する機関として、エネルギー、廃棄物リサイクル、環境影響、騒音振動に関する4つの専門部会を設置し、活動を推進しています。

三島事業所環境方針

1. 地球資源の有限性を認識し、生産活動の効率を高め、省エネルギー、省資源に取り組む。又、循環型社会の構築を目指して、5R(REUSE、REPAIR、REDUCE、RECYCLE、REFUSE)を推進する。
2. 環境保全に関する法令、条例及び事業所が同意したその他の要求事項等を遵守し、技術的、経済的に可能な範囲で自主管理基準を制定し、一層の環境保全に取り組む。
3. 環境目的と目標を定め、定期的に見直しを行い、環境の継続的な改善を図ると共に、汚染の予防に努める。
4. 社員教育、社内広報活動等を実施し、環境方針の理解と環境に関する意識の向上を図り、全員参加で環境保全活動に取り組む。
5. 環境方針を一般に公開すると共に、関係諸官庁及び住民とのコミュニケーションを図り、地域社会との共生に努める。



環境監査

審査登録機関による外部監査と内部環境監査員による内部監査を実施しています。三島事業所のEMSがISO14001規格に適合していること、EMSに基づいた運用がなされていること、発生した不適合に対する是正処置、予防処置が適正になされていることなどが審査されます。審査で受けた指摘事項については対応処置を実施するとともに、監査結果を環境管理統括者に報告し、EMSの継続的改善に繋げています。

環境負荷低減への取り組み

三島事業所では、事業活動、製品、サービスの環境負荷を低減するため、環境方針に基づき各部門がそれぞれ環境目的・目標を設定し、目標達成を目指して活動に取り組んでいます。これまで環境保全のための施設や設備改善、灯油や軽油などの使用量削減、電力使用量の削減、廃棄物の削減と有効利用、ポンプや送風機などの製品の効率化等に取り組んできましたが、着実な成果が得られつつあります。しかし、取り組みの中には達成が困難なものもあり、これらについては今後の検討課題とします。

～ 2006年度取り組み事例 ～

環境目的・目標	取り組みの内容
屋外水槽の藻の発生によるpH上昇防止 (目標達成期限2005年度)	藻の発生を防止するため、屋外の大水槽に遮光設備(兼防音対策)を設置し、次年度実施することが決定しました。達成目標期限より2年遅れました。
照明器具の省エネ20% (目標達成期限2008年度)	2004年度に引き続き、工場天井灯の一部を高効率の照明灯に交換しました。今後も順次高効率の照明灯に交換し、省エネ20%達成を目指します。
焼却ごみの50%削減 (目標達成期限2006年度)	焼却ごみの50%を固形燃料の原料にすることで有効利用を促進し、焼却ごみを削減します。目標達成期限は2006年度でしたが未達のため、次年度達成を目指し取り組みます。
変圧器損失電力の6.2%低減	最新の省エネタイプの変圧器の導入計画を立案し、損失電力の低減を図ります。次年度4台の変圧器の更新が決定しました。
高Nsファンの効率改善	高Nsファンの2%効率向上を目標に開発中です。
復水ポンプの効率改善	復水ポンプの2%効率向上を目標に開発中です。

環境教育・啓蒙

三島事業所の全従業員と構内業者の他、下請工事業者や外注業者を対象に環境教育を実施しています。一般教育は地球温暖化や廃棄物、省エネ等の環境一般、EMS、環境法規等の内容を含んでいます。著しい環境影響の原因となる可能性をもつ作業に従事する作業員には、必要な力量を付与する教育を実施し、環境に大きな影響を与えるような作業ミス等の撲滅を図っています。また、EMSをより有効なものにするため、内部監査員教育を実施し、監査員の力量向上に努めています。その他、環境保全や安全衛生に関する管理能力の向上を図るため、公害防止管理者や危険物取扱作業員等の公的資格の取得を奨励しています。



環境一般教育

環境教育

分類	環境教育名
環境一般 自覚	新入社員環境教育
	環境月間特別講習
	環境月間伝達教育
	下請工事業者環境教育
	外注業者環境教育
	製造部組長環境教育
	月例環境教育
力量	指定作業従事者教育訓練
	内部監査員教育
	廃棄物委託処理業務管理者教育

公的資格保有者数

資格	人員(人)
環境計量士	1
作業環境測定士	1
公害防止管理者(大気、水質、騒音、振動)	14
危険物取扱者(乙種2類、乙種4類、丙種)	77
特別管理産業廃棄物管理責任者	3
高圧ガス製造保安責任者	1
エックス線作業主任者	3
有機溶剤作業主任者	70
特定化学物質等作業主任者	3
毒物劇物取扱責任者	1

取り組みの実績

エネルギー投入量

三島事業所では空調設備のデマンド制御、高効率照明灯の採用、冷暖房温度の省エネ設定などを実施し、電力使用量の削減を図っています。また、ポンプや送風機などの大型製品が多いため、特定の製品の試運転時にはインバータ等による回転数制御を行い、騒音の低減とともに電力使用量の削減を図っています。

また、製品がお客様に納入された後、その製品が運転された際の電力使用量を低減するため、高効率製品の開発と製品化にも積極的に取り組んでいます。

2000年度から2006年度までのエネルギー投入量を示します。2006年度は前年度よりエネルギー投入量が16%増加し、原単位で26%増加しました。これは大型ポンプの試運転が頻繁に行われたこととともない、電力使用量が増加したことによるものです。

三島事業所の全エネルギー投入量の90%を電力が占めており、むだな電力の使用をなくすことが、効果的な省エネを進めるうえで必要不可欠です。

今後、変圧器の効率化による損失電力の削減や、インバータによる集塵機の高効率化などの省エネ対策を実施していく予定です。

水資源

三島事業所では井戸水と市水を使用していますが、使用水の90%以上が井戸水で、その大部分がポンプの性能試験等に必要の大形試験水槽に供給するための水として使用されています。

節水対策として、大形試験水槽の水の入れ替え頻度を必要最小限にすることで、井戸水の使用量削減に努めています。

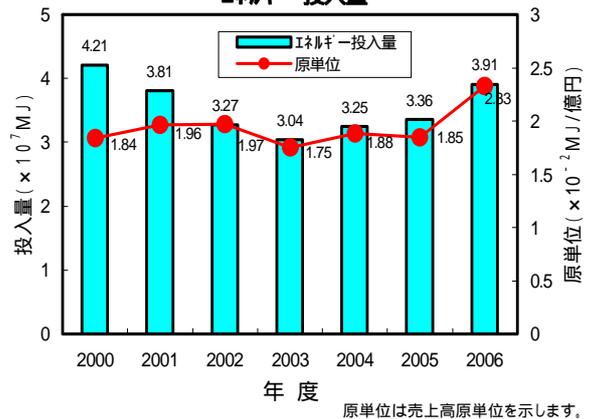
2006年度の井戸水使用量は10万 m^3 でした。使用量が極端に少なかった前年度を除けば、2003年度以降の井戸水使用量は9~10万 m^3 で推移しています。

CO₂排出量

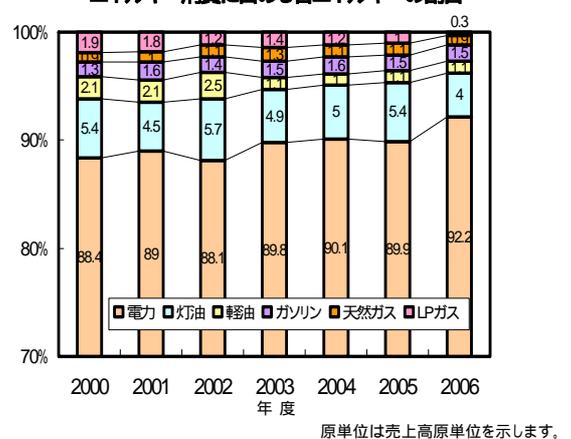
京都議定書で定められた温室効果ガス排出量6%削減の目標を達成するため、国レベルから個人レベルに至るまで、CO₂排出削減に対するさまざまな取り組みが行われています。

2000年度から2006年度までの三島事業所の事業活動にともなうCO₂排出量(エネルギー消費量+廃プラスチック排出量からの換算値)を示します。2006年度は前年度より排出量が15%増加し、原単位で25%増加しました。これはエネルギー投入量の項で述べたように、2006年度の電力使用量の増加にともなってCO₂排出量も増加したものです。

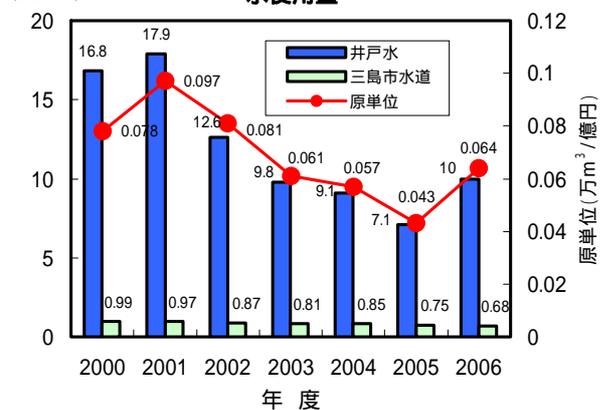
エネルギー投入量



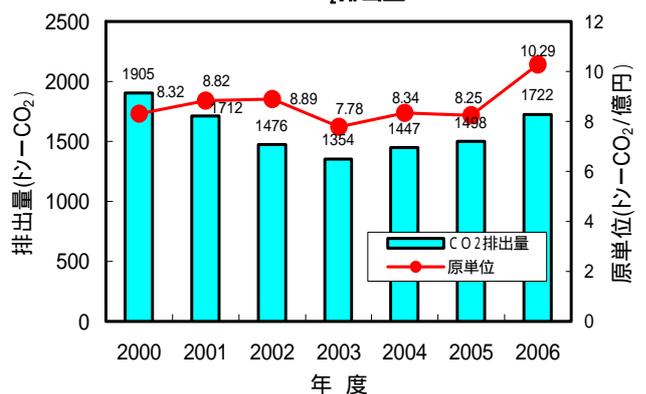
エネルギー消費に占める各エネルギーの割合



水使用量



CO₂排出量



廃棄物

三島事業所における2006年度の廃棄物総排出量は321トンでした。排出量の内訳は、リサイクル廃棄物が297トン、埋立廃棄物が24トンで、リサイクル廃棄物の排出量は前年度より6%増加しましたが、埋立廃棄物の排出量は11%減少しました。リサイクル廃棄物の増加要因は金属くずの排出量が増加したことによるものです。一方埋立廃棄物の排出量は年々減少傾向にあります。

廃棄物のリサイクル率は年々増加しており、2006年度のリサイクル率は92.5%でした。リサイクルをさらに推進するため、2006年度から焼却ごみの分別強化に取り組んでいます。

リサイクル金属くずは現在有価物として処理していますが、過去のデータと連続性をもたせるため、ここでは廃棄物に含めて集計しています。

化学物質

三島事業所では、10種類程度の指定化学物質を使用していますが、量的にPRTRの報告対象となる指定化学物質は、塗装工程や部品の洗浄工程などで使用する有機溶剤のシンナーや塗料などに含まれるトルエン、キシレン、エチルベンゼンの3物質です。

2006年度の指定化学物質の大気への排出量は、上記3物質にスチレン、ジクロロメタンを加えた合計で15.5トンで、前年度より若干増加しました。

一方、2006年度の指定化学物質の廃棄物としての移動量は前年度より減少しました。シンナー洗浄工程の一部を高圧温水による洗浄に切り替え、シンナーの使用量削減に取り組んでいます。また、今後はVOC排出抑制に対する取り組みも進めていく予定です。

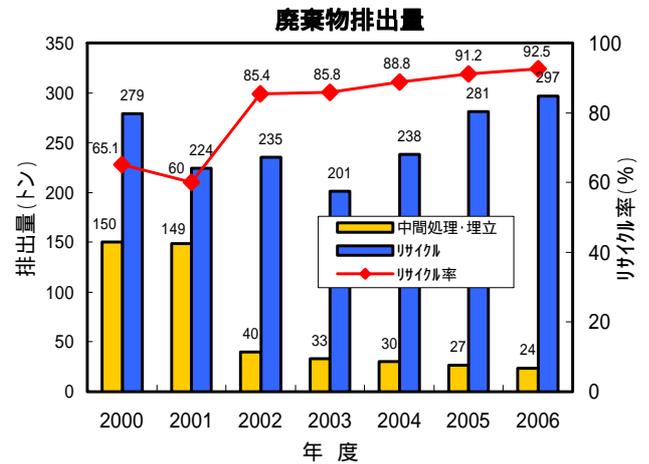
排水管理

三島事業所から下水道及び公共用水域に排出される排水を管理しています。公共用水域に排出される排水については、毎日の日常点検とpH計による24時間連続測定及び毎月の定期水質検査を実施しています。また下水については、毎月定期水質検査を実施しています。水質の変動はありますが、規制値内での変動であり、良好な状態に管理されています。

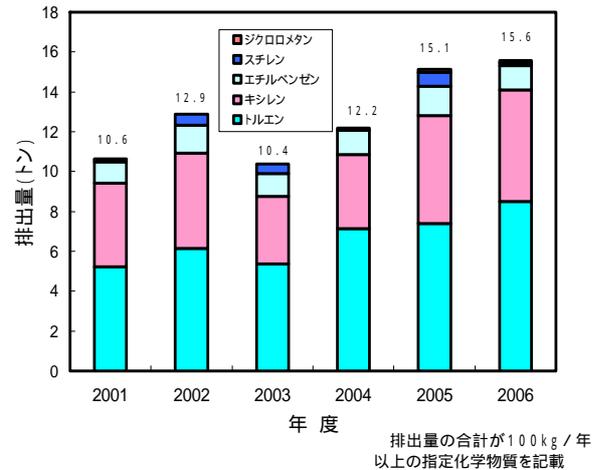
公共用水域への排水 (2006.4~2007.3)

項目	規制値	実績	平均
pH	5.8~8.6	6.6~8.1	7.7
SS	150	1~9	3
BOD	120	ND~3	1
油分	5	ND	ND
銅	3	ND~0.02	0.01
亜鉛	2	0.02~0.38	0.09
全クロム	2	ND	ND
溶解性鉄	10	0.03~0.38	0.09
溶解性マンガン	10	ND	ND
鉛	0.1	ND	ND

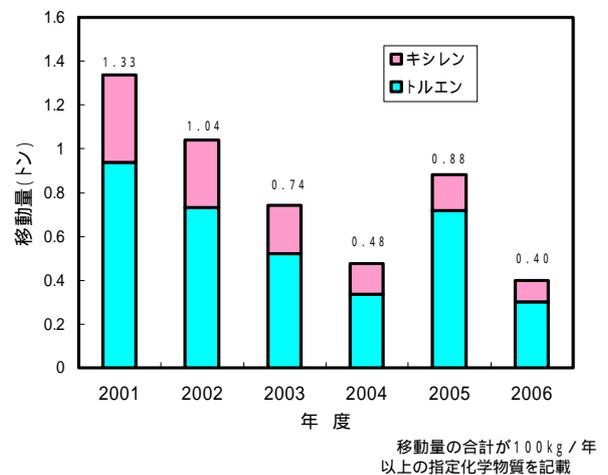
単位：pH以外はmg/l ND：定量下限値以下



指定化学物質の大気への排出量



指定化学物質移動量



下水道への排水 (2006.4~2007.3)

項目	規制値	実績	平均
pH	5.7~8.7	6.9~8.6	7.8
SS	300	23~245	89
BOD	300	60~273	175
油分	30	ND~6	2
銅	3	ND~0.06	0.02
亜鉛	2	0.05~0.28	0.1
全クロム	2	ND	ND
溶解性鉄	10	0.13~0.47	0.26
溶解性マンガン	10	ND~0.03	0.01
鉛	0.1	ND	ND

単位：pH以外はmg/l ND：定量下限値以下

環境会計

三島事業所における環境保全への取り組みを環境経営に反映し、環境保全活動をより効果的に推進するため環境会計を導入し、2005年度報告書から実績を公表しています。環境会計は環境省「環境会計ガイドライン2005年版」を参考にしました。

対象期間：2006年4月1日～2007年3月31日

集計範囲：(株)電業社機械製作所三島事業所

環境保全コスト

単位:万円

分類	取り組みの内容	投資額	費用額
事業エリア内コスト	公害防止コスト	0	1,062
	地球環境保全コスト	0	206
	資源循環コスト	0	653
上・下流コスト	事務用品のグリーン購入	0	0
管理活動コスト	EMSの運用、環境教育、環境負荷監視	0	525
研究開発コスト	水力発電装置、ポンプの効率向上、軸受等に関する研究開発など	0	1,086
社会活動コスト	環境保全団体への寄付、支援	0	10
環境損傷対応コスト		0	0
合計		0	3,542

環境保全効果

項目	環境負荷削減量	備考
総エネルギー使用量(MJ)	5450000	電力、灯油、軽油、ガソリン、都市ガス、LPガス使用量から算出
水使用量(万m ³)	2.8	井戸水、市水の使用量から算出
CO ₂ 排出量(トン)	22.4	エネルギー消費量・廃プラ排出量からCO ₂ 排出量を算出
廃棄物排出量(トン)	1	左記は焼却処分対象廃棄物のみ

総エネルギー使用量は、三島事業所内での生産活動によるエネルギー使用量を集計したもので、製品や材料の輸送に係るエネルギー使用量等は含みません。

CO₂排出量は、総エネルギー使用量と廃プラスチック排出量から算出しました。

基準期間を2005年度として環境負荷削減量を算出しました。は増加を示します。

環境保全対策に伴う経済効果

単位:万円

項目	経済効果
高効率照明灯の採用による省エネに伴う削減経費	11
有価物の売却による収益	904

高効率照明灯の採用による省エネに伴う削減経費は、電力使用量の削減量を基に実質経済効果を算出しました。有価物の売却による収益は、金属くずの売却によるものです。

安全衛生管理

三島事業所では、労働災害を防止し、従業員の安全と健康を確保するため、安全衛生管理組織を設置して責任体制と管理体制を明確にし、活動を推進しています。

毎月開催する安全衛生管理委員会では、職場で発生した災害やヒヤリについて、その発生原因とそれに対する再発防止対策が報告され、他職場で同様な災害が発生しないよう水平展開を図っています。さらに、過去の災害事例についての報告が行われ、記憶を新たにすることにより、同様な労働災害の発生防止を図っています。

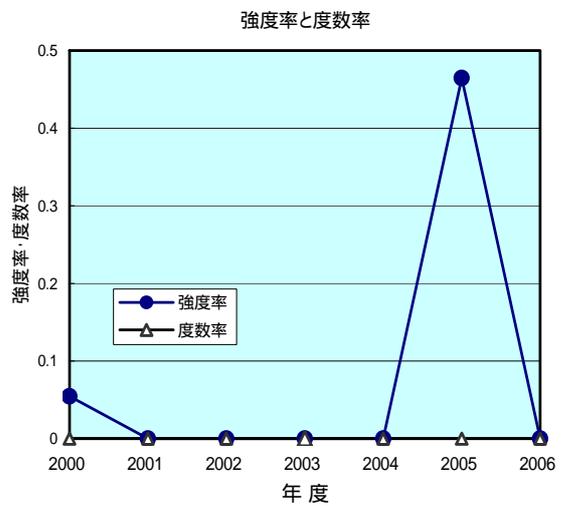
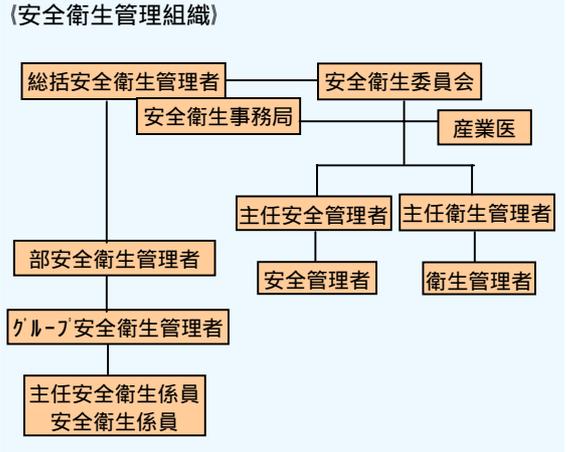
また、全国安全週間と全国衛生週間には一般従業員から安全・衛生に関する標語の募集を行い、優秀作品を職場に掲示し、従業員の安全衛生に対する意識の高揚を図っています。

救護セミナー & 健康管理

三島事業所では、全国安全週間中の行事の一環として、市消防署救援隊の職員を講師に招いて、従業員や請負業者等の中から選出された人を対象に、実技指導を交えた「普通救命講習」を実施しています。2006年度は AED(自動体外式除細動器)の操作方法についての実技指導が行われました。

全国労働衛生週間には、医師や看護師を講師に招き「健康講演」を開催しています。

また、日常の従業員の健康管理のため、産業医によるメンタルヘルスカウンセリングや生活習慣病等の予防対策について指導を行っています。



$$\text{度数率} = \frac{\text{労働災害による死傷者数}}{\text{延実労働時間数}} \times 1,000,000$$

$$\text{強度率} = \frac{\text{労働損失日数}}{\text{延実労働時間数}} \times 1,000$$

(表彰)

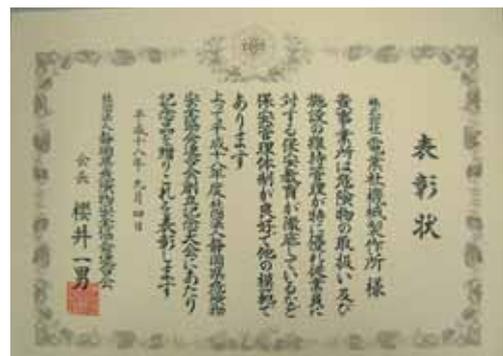
三島事業所は、有機溶剤等の危険物の取り扱いや従業員に対する保安教育が徹底していることなど、保安管理体制が良好であることが認められ、静岡県危険物安全協会連合会より表彰されました。



健康講演



救護セミナー



環境美化活動

市内の河川に堆積した泥やごみを除去する河川清掃や市内せせらぎルートのごみ拾い清掃など、毎年行われる河川や町の環境美化活動に積極的に参加しています。

また、三島事業所周辺の環境パトロールを毎月1回行って、歩道や道端などに落ちているごみを拾い、環境美化に努めています。



せせらぎルートのごみ拾い活動



桜川の清掃活動

年度	参加人数
2000	12人
2001	22人
2002	35人
2003	22人
2004	34人
2005	33人
2006	32人

夏祭り

三島事業所では、毎年8月に夏祭りを開催しています。いろいろな模擬店の出店や、お楽しみ抽選会などが行われ、従業員やその家族、地域住民の皆様の夏の夜の楽しい交流の場となっています。



夏祭りの抽選会風景

社会貢献

地震や風水害等による被災地への義援金や近隣地域の福祉などのため、平成17年9月に「DMW社会貢献基金運営委員会」を発足し、社会貢献活動に取り組んでいます。

平成18年度はジャワ島中部地震への救援金や地域福祉のため、三島社会福祉協議会へ寄付を行いました。

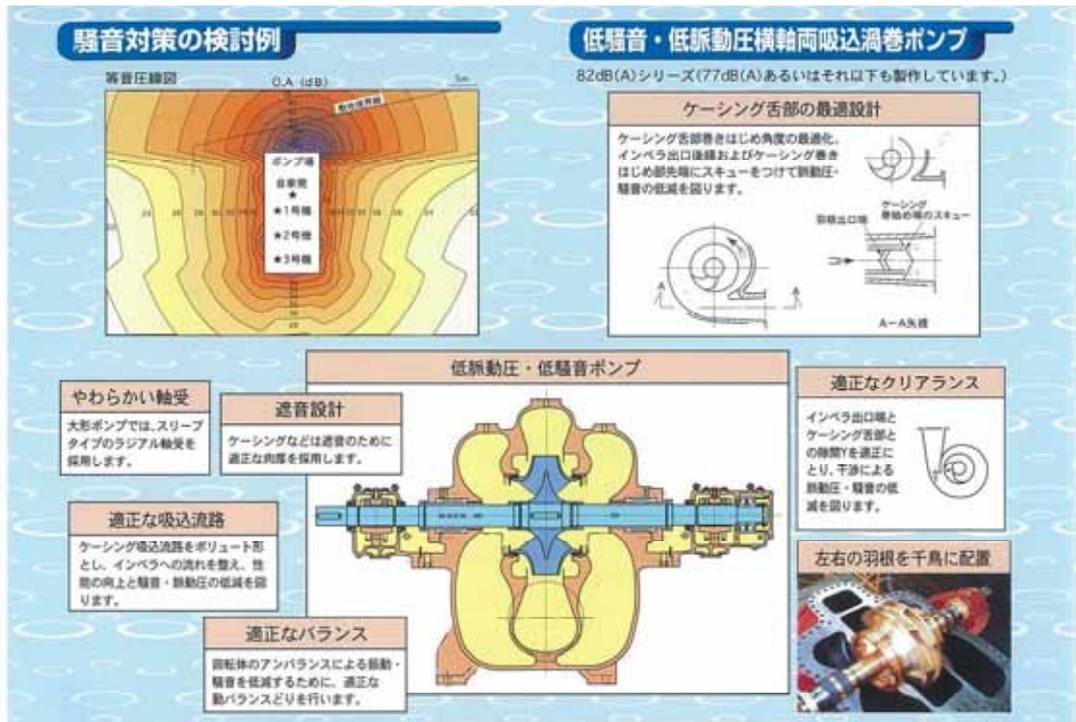


静岡新聞紙面より

ポンプ場の騒音や振動などに対する環境改善を考慮して設計された低騒音・低脈動圧ポンプと、ブロワの吐出圧力を弁体の開閉にアシスト力として利用することにより、ブロワの省エネ化を実現したエア・アシスト型省エネ逆止弁「AA チェック」について紹介します。

低騒音・低脈動圧ポンプ

水道用ポンプは24時間運転されます。特に夜間の運転が行われますので、低騒音化、低脈動圧化が求められています。これらのニーズに応える技術を開発し、全国の水道事業者の皆様にご使用いただいています。

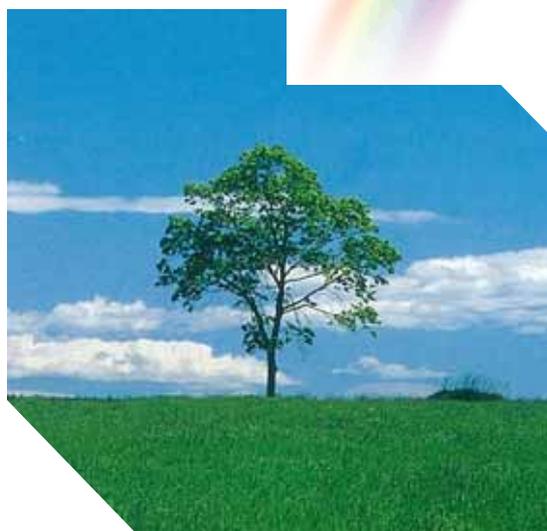


エア・アシスト型省エネ逆止弁 AAチェック

従来のばっきブロワ用逆止弁は弁が十分に開かないため、圧力損失が大きく、エネルギー損失の原因になっていました。当社では、ばっきブロワの省エネ化を図るため、圧力損失の小さな逆止弁の開発に取り組み、従来の逆止弁より、性能、メンテナンス性、機械的信頼性などで大きく改善された低圧力損失型逆止弁を完成しました。



Action C&J
21世紀に勝ち残る企業を目指して
Open up the future.
～新しい風が未来を切り開く～



株式会社 電業社機械製作所